

『かわら版』  
第10回

「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

「セーフコミュニティ」のことは、市HPのバナーをクリック!?! 探してみてください!



「セーフコミュニティ」は、みなさんの身近に起こっている**事故やけがを予防する取組み**のことです。「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、**みなさんが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切**です。

7分野の取組③「学校の安全」

学校の安全対策

目標 「児童生徒の事故の減少」

取組 校内パトロール、「危険」などの表示、危険箇所マップづくり など



けが防止の意識を高める

市立小中学校では、校内等のけがを減らす、さまざまな取組をしています。その中で「平川小学校」の取組を紹介します!

右側を歩こうね

校内パトロールの実施



けがの多い休憩時間に、「危険箇所マップ」で確認したけがの多い場所の見回りをを行い、けが防止を呼びかけています。

～平川小学校の取組紹介～

危険箇所マップづくり

校内でけがが発生した場所にシールを貼り、どこでけがが多く発生しているかを分析しました。けがの多い場所が明確になり、けがをしやすい場所を理解することで、けがを防止しようとする意識が高まりました。

けがが一番多い場所は校庭だね。



集会活動での呼びかけ

休憩時間のけがが多いです。

転倒などけがの原因を説明し、けが防止の呼びかけを行いました。また、安全マークを募集し、発表し合ったほか、話し合い結果を周知しました。



様々な活動が、児童のけがの防止につながっています。

ポスターの掲示



危険箇所マップの分析結果から、けがの多い場所にポスターを掲示しました。また、全校児童がよく通行する保健室前の掲示板にも掲示し全校児童にけが防止を呼びかけました。

自分たちで考えて行動しているから、けがの防止につながっているんだね。



気をつけてね



「危険」などの表示

骨折などの大けがが起こらないように、廊下の中心に衝突などを防ぐためのペットボトルを並べたり、大けがが起こりそうな場所に「きけん」の表示を行っています。

児童・生徒の主体的な取組が広がっています!(2015年度)

取組の結果

- 1. 取り組み学校の増
- 2. 校内のけがの減少

「危険」などの表示を実施している学校

2014年度 44校

6校増加

2015年度 50校

日本スポーツ振興センター災害給付対象の件数(2学期)

2014年度 435件

29件減少

2015年度 406件



けが防止に努める児童生徒が増えました!

このほかにも、部活動の事故防止の取組を進めていきます。

入念な準備運動の実施

・体幹や神経系の発達を促す運動を取り入れた入念な準備運動を行う。

キャプテン会議の開催

・ヒヤリハット体験やけが防止の解決策を話し合う「キャプテン会議」を行う。

